

## 2019年度 決算状況（速報）について

杜の都信用金庫の2019年度決算状況についてお知らせいたします。

### 【1】収益面について

◇ 当期純利益は減益となりました。

(%表示は対前期比増減率)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		最終当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月	6,948	△9.9	△825	△184.6	983	△61.0	1,206	△30.7	318	△50.8
2019年3月	7,715	△1.1	974	△46.2	2,525	28.5	1,743	6.7	649	△50.6

経常利益、当期純利益は、経常収益が市中金利の低下等による資金運用収益等の減少により減収となったことに加え、与信関係費用が増加したことなどにより減益となりました。

### 【2】業容面について

◇ 貸出金残高は減少しましたが、預金残高は増加しました。

(%表示は対前期比増減率)

	預 金				貸 出 金			
	平 残		末 残		平 残		末 残	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月	508,964	2.6	538,041	1.9	319,426	△4.0	316,926	△7.2
2019年3月	495,894	7.1	527,605	2.6	332,922	6.1	341,727	0.1

預金は、懸賞付定期預金などの企画商品や新本店ビル落成記念キャンペーンがご好評をいただいたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

貸出金は、台風19号により被災されたお客さまの復旧に向けた支援融資など、地域のお客さまの資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給に努めてまいりましたが、事業者向けや地方公共団体向けなどの貸出が減少したことから、平残・末残ともに減少しました。

なお、新型コロナウイルス感染症にかかるお取引先の資金繰り支援についても積極的にご相談を承っております。

### 【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
	比率	ポイント	比率	ポイント
2020年3月末	9.09%	0.58	3.05%	0.33
2019年3月末	8.51%	0.38	2.72%	0.05

※不良債権比率は、金融再生法に基づき表記しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を充分保っております。

杜の都信用金庫は、「最も相談しやすい地元のしんきん」を目指して、地域経済の活性化のために積極的に取り組んでまいります。